

1. 評価結果概要表

作成日 2007年6月20日

【評価実施概要】

事業所番号	1270101395
法人名	社会福祉法人萩会
事業所名	グループホーム赤かぶ園
所在地	千葉県千葉市中央区赤井町33番地1 (電話) 043-261-1113

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成19年6月15日	評価確定日	8月14日

【情報提供票より】(19年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年5月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	14 人
職員数	21 人	常勤7人, 非常勤14人, 常勤換算5.7人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り
	4階建ての 1階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	21,000 + 実費 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 300,000万円	有りの場合 償却の有無	有(退居時)	
食材料費	朝食	300 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	200 円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(6月1日現在)

利用者人数	14 名	男性	0 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	71 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大賀病院 医療法人社団明陽会メイヨ歯科
---------	---------------------

特定非営利活動法人コミュニティケア研究所

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

四季を肌で感じられる緑豊かな丘の上に位置している。4階建てのビルは、1階部分が2ユニットのグループホームで、ほかにも軽費老人ホーム、デイサービス、居宅介護支援、訪問介護事業所が運営されており、入居者は気軽に行き来して交流を楽しんでいる。建物の構造上、家庭的とはいいい難いが、家具や装飾、入居者の作品展示などの工夫で、温かな雰囲気作りがなされている。ホーム開設者は医療関係者であるため、入居者の健康管理にはしっかりと目を配っている。また管理者・職員は、ホームが認知症高齢者とその家族の拠り所となるよう、地域連携にも励んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回指摘のあった運営理念、方針、具体的な目標などを分かりやすくする作業はいずれも目下検討中である。個別のアセスメント、介護計画、計画の共有については大幅に改善した。入居者の外出の機会を増やす点については、日程を決めて職員を配置できる体制を考えている。職員の配置、ストレスの軽減、研修の機会を増やすことについては道半ばなので引続き検討が期待される。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	今回の自己評価は職員も参加して実施した。取り組んでいきたい項目については改善計画シートを作成し、出来るものから、期間を区切って、徐々に始めていこうと計画している。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	3月に第1回目を開催、次回はまだ未定である。1回目は参加者同士の自己紹介やホームの概況説明を行った。今後も定期的に開催し、行政や地域の方々と意見交換を重ね、要望の聴取やケアの質向上を図っていく予定である。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	職員は積極的に家族の思いを理解しようと努めている。意見箱を設置し、何かあればいつでも気軽に投書するよう呼びかけている。運営推進会議でも意見・要望を聞き取るようにしている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	散歩の際に挨拶を交わしたり、介護相談を受けたり、敬老会、盆踊り、運動会など地域の行事に参加して、地元の人々と交流に励んでいる。

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念は事業計画書の中に書かれている。しかし文言が長く、家族向けの説明文書等には記載されていない。		理念を集約し、明快でわかりやすい基本理念・介護理念・行動指針を作成中とのことなので、今後が期待される。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の文言が長く、かつ、内容が抽象的なこともあり、全職員が共有し、実践しているとはいい難い。		全職員が共通して理解できる理念を作成し、実践に結びつけることが望まれる。
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入し、敬老会、盆踊りなどの行事にも参加している。また、民生委員とも連携し、情報交換している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員で作成した。外部評価はホーム内の誰でも閲覧できるところに置いている。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に1回の開催を目指しているが、1回目以降の開催のめどがたっていない。		運営推進会議の定期開催が期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市区の担当者とは、主として電話で情報交換している。市主催の「サービス向上会議」や「地域におけるグループホームの役割」などの集まりには、積極的に参加していく所存である。		市区の担当者が忙しく、なかなか話ができないという現状であるが、引き続き、連携を強める働きかけをすることが促される。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には、2週間に1回、電話連絡等で、入居者の様子を伝えている。必要があればこれ以外にも随時電話する。出納帳写しや写真なども定期的に送付している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。また面会時等に家族の意見・要望をくみ取るようにしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職の際は入念に引継ぎを行い、入居者に支障が出ないようにする。新人職員にはベテラン職員が2名ついて指導し、入居者・家族に馴染んでもらうようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員はそれぞれが短期目標を持ち、日々の介護に取り組んでいる。OJTを通じてケア技術の向上に取り組んでいる。内部研修は、研修係を指名して実施しているが、まだ十分ではない。		内部勉強会の定期開催および外部研修参加の機会作りが望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉市グループホーム連絡会に加入し、情報交換している。今後は、より一層同業者間の交流を広げ、他ホームの見学なども検討している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>新規に入居する場合は、ホーム管理者が自宅や病院等に出向いて面談し、見学等を経て、少しずつ馴染んでいただくようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者と共にゆったり過ごす時間を持ち、洗濯物たたみ等の家事を一緒に行っている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で入居者に寄り添い、入居者の言動等から思いを理解しようと努力している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>必要に応じて担当者会議の開催を行っている。入居者自身がその人らしく生活できるよう情報収集・アセスメントを実施しケアプランに役立てている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的および必要な場合は随時、カンファレンスを実施している。しかし、話し合いの記録が残っていない。</p>		<p>会議の内容を後日振り返り、参考とできるような資料を残す工夫が期待される。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同じビル内のケアハウス・デイサービス利用者との交流を行っている。		
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	原則的に入居者個々のかかりつけ医を受診するようにしているが、風邪で熱がでた時などは、ホームの提携医院を受診することもある。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	以前は、あらかじめ延命の意思確認等を行っていたが、時の経過と共に家族や本人の思いも異なってきたため、状況に応じての対応としている。ターミナルケアの勉強会も検討している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員個々が意識を高く持てるよう、また共通理解となるよう、入居者への基本的関わり方について掲示がされている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間等およその流れはあるが、入居者個々が思い思いに生活している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブルへの準備・片付け等を入居者と共に行っている。食事は、時にはテラスで頂くこともある。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望を確認し、好みの入浴剤(3種類)を使用した入浴をしている。デイサービスの大きな浴槽を借り、皆で温泉気分を味わえるような入浴サービスも実施してみたいと検討中である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	外出・サークル等、入居者が活躍できる場面を提供している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者個々の状態・希望を配慮しながら買い物やお花見等を実施している。		行事としての外出のみではなく、日常的に近隣へ出る機会が増えると更によいと思われる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員個々が常に入居者の動きに目を留め、日中は鍵をかけることなく開放的な状態で、自由な暮らしを支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域消防団に代表が所属しており、地域との連携が取れている。年2回の避難訓練を実施しており、全職員が参加している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取状況等を記録に残し、情報を共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	内部は、温かみのある造りとなっている。家具は、家庭的雰囲気のものを使用されている。窓からは木々の緑が新鮮に映り、空気からも時々季節を感じることができる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は庭に面しており、明るい日差しが差し込んでいる。カーテンは入居者の好みのものがかけられており、服なども選びやすいようにハンガーにかけられている。使い勝手のよい、落ち着ける雰囲気の居室作りとなっている。		